

第四十六回 文化祭参加

とき
ところ

令和六年十一月十日(日)
十二時半開演(十六時半終演予定)
スタートおおたかの森ホール【入場無料】

邦楽三曲演奏会

主催
企画運営
共催
後援

流山市文化祭実行委員会
流山市文化協会邦楽三曲部
流山市教育委員会
流山市

19. 「沖縄の曲メドレー」 水野由果梨 作曲

箏	水野 由果梨	井上 礼子	梶原 莉那
	須貝 ちはる	関 友美香	高村 友紀
	高本 智恵子	寺坂 碧海	寺坂 瑛果
	中村 陽咲	西村 勝利	藤田 結子
	藤田 良子		
十七絃	本田 恵子	金沢 尚樹	中村 裕子

沖縄の音楽を、箏・十七絃の音色でお届けさせていただきます。

15. 「さん・さん・さくら」 石井由希子 作曲

箏 I	中島 武子	渡辺 一司	高橋 葉月(中3)
箏 II	小田原 彩子	足立 久奈駕	松永 千津子
箏 III	大塚 二三恵	永井 奈津代	
箏 IV	加藤 いづみ	平木 由枝	
三絃	花山 富佐子		
尺八	中村 智山	野澤 勉	

「さくら」をモチーフにした曲で、箏のピチカートからゆっくり始まり、次に三絃が加わり澁刺としたテーマがあらわれます。

「さくら」を形を変えながら合奏します。

16. 「朱へ…」 沢井比河流 作曲

箏	吉岡 景子
尺八	吉岡 龍之介

「朱」は、尺八の内側の漆の色。その色が空間を満たし、人の心を満たす。それに一体化するために箏は自然と鳴り始める…

尺八と箏の二重奏で、中高音域を使用した明るい音域で構成された曲である。

17. 「暁の歌」 富山清琴 作曲

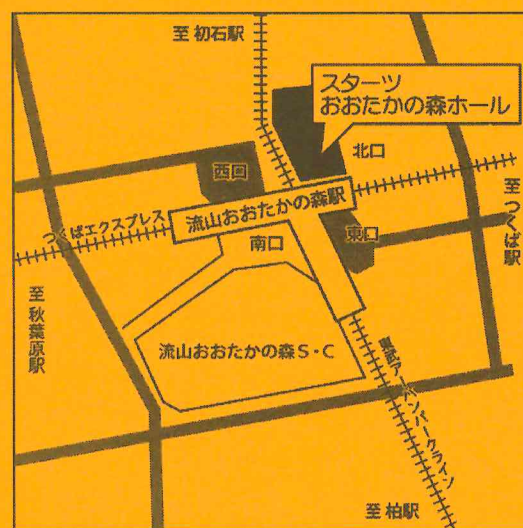
箏	吉田 雅鳳	吉田 雅楽祐	
三絃	須賀 雅楽薫	松浦 雅楓緒	安蒜 彩乃
尺八	野澤 勉		

この曲は、日本の神話伝説をうたった詩に作曲したもので、前弾は楽の手を、手事は海原を描写し、崇高な気分をあらわしている。古典の形式でありながら新しい感覚をとり入れた曲である。

18. 「秋の言の葉」 西山検校 作曲

箏本手	南海 佳子	田中 桂子	森 慎子
	吉住 秀之		
箏替手	川瀬 弥	河田 とし子	
尺八	白鳥 良章	渡辺 重雄	橋本 昭
	渡辺 均	渡辺 修身	豊澤 栄秀

この曲は西山徳茂都が1887年頃に作曲した明治新曲です。手事では虫の声や砧の響きを表現して中秋の名月に照らされる嵯峨野の風情を表現しています。「言の葉」は和歌を意味し、秋の和歌が二首引用されています。



スタートおおたかの森ホール TEL 04-7186-7638
流山おおたかの森駅下車 徒歩 1 分

入会してみたい方、箏や尺八を習ってみたい方など、
お気軽にお問合せ下さい。

流山市邦楽三曲会事務局

〒270-0101
千葉県流山市東深井 493-5
会長 足立 久奈駕
TEL 04-7155-4371

演奏曲目

1. 「 琴姫のうた 」 水野利彦 作曲

I 箏

南海 佳子

花山 富佐子

足立 久奈駕

河合 咲(小6)

林 雅楽優

海老原 久美子

加藤 泰子

渡辺 一司

高橋 葉月(中3)

II 箏

熊田 雅芳

白川 雅楽枝

久馬 みさこ

高島 敏子

坂本 志津慰

花井 マサミ

三 絃

吉田 雅鳳

佐藤 雅千盈

須賀 雅楽薫

松浦 雅楓緒

飯泉 歌貴純

安蒜 彩乃

十七絃

水野 由果梨

長谷川 雅楽柚

尺八

白鳥 良章

山村 雅以山

牧野 栞山

中村 智山

野澤 勉

豊澤 栄秀

福田 瑤山

琴姫隊というネーミングの海辺の街に住む子供達のグループの為に書いたもので曲名もそれにちなんで付けた。

ちょっとおどけた前半、自由なテンポの中間部、後半は沖縄独特の軽快リズムで盛り上げ、華やかにまとめた。平成5年8月の作品である。

2. 「吾妻の曲 」 作曲者不明

尺八替手

白鳥 良章

尺八本手

渡辺 重雄

橋本 昭

渡辺 均

渡辺 修身

豊澤 栄秀

言い伝えによると福島県の吾妻地方の獅子舞の笛の囃子を尺八に移した曲と言われている。今回は本手と替手の尺八二重奏でお届けします。

3. 「 たき火・虫の声 」 日本唱歌

箏

西野 柚葉(小1)

日本の長く親しまれている秋の歌、たき火と虫の声を2曲続けて演奏します。

4. 「通りゃんせ・さくら 」 吉崎克彦 作曲

第一 箏

須賀ことは(小1)

新 藏 ゆう(小1)

須賀ひかり(5才)

長谷川 雅楽柚

第二 箏

白川 雅楽枝

箏入門のための練習曲から平調子の2曲を演奏します。

今回は子供たちにとって3度目の舞台となります。

5. 「 三段の調 」 久本玄智 作曲

箏本手

加藤 知敬

加藤知花(小2)

小野健男(小6)

箏替手

岡松 美祥敬

岡松 美早紀

この曲は久本玄智9才時の作品。ピアノ演奏家であり山田流箏曲家でもある。平調子で唄のない手事のための初歩の曲で明るくテンポのいい曲。

6. 「 飛躍 」 久本玄智 作曲

第一箏

中島 武子

大塚 二三恵

永井 奈津代

第二箏

小田原 彩子

松永 千津子

平木 由枝

加藤 いづみ

尺八

中村 智山

野澤 勉

昭和6年久本玄智28才の作品。

曲は3楽章よりなり軽快な旋律により飛躍の気分を表現した洋楽のロンド形式の曲。

7. 「じょんがらの街」 水野由果梨 作曲

三 絃

水野 由果梨

箏

井上 礼子

梶原 莉那

須貝 ちはる

関 友美香

高村 友紀

高本 智恵子

寺坂 碧海

寺坂 瑛果

中村 陽咲

西村 勝利

藤田 結子

藤田 良子

十七絃

本田 恵子

金沢 尚樹

中村 裕子

津軽三味線の魅力を、箏の合奏の中に取り入れてみたいと思い作られた作品。本来、アドリブの「じょんがら」を箏・十七絃の合奏の中に生かしながら、お互いのテクニックを発揮できるよな作品になっております。

8. 「花紅葉」 宮城道雄 作曲

箏

花山 富佐子

山崎 みどり

三 絃

久馬 みさこ

竹内 美智子

花井 マサミ

尺八

山村 雅以山

高橋 碩山

福田 瑤山

昭和2年の作品です。題名の通り、さくらの季節（前唄）と紅葉の季節（後唄）を唄っています。力強いわびさびのある古曲とは違い、早い旋律や半音の中に、ロマンと美しい空気を感じる曲になっています。

9. 「GRADATION<風の彩>」 吉崎克彦 作曲

一 箏

青木 璃音

矢久保 桜

渡邊 真実

渡邊 康香

二 箏

後藤 美羽

十七絃

南海 佳子

原曲は一絃琴のために作られた作品ですが、このメロディーにアンサンブルの「歓び」を吹き込みたいと考え、合奏曲に構成されました。2001年作曲

第一箏、第二箏は流通経済大学付属柏高校・中学校箏曲部有志の皆様です。

10. 「 君をのせて 」 久石譲 作曲

I 箏

集貝 玲奈(小3)

平田 杏(小4)

高橋 葉月(中3)

花山 富佐子

久馬 みさこ

II 箏

渡辺 一司

足立 久奈駕

安原 つばさ

十七絃

集貝 剛

宮崎駿原作の「天空の城ラピュタ」が1986年にスタジオジブリ初制作の日本のアニメーション映画で公開され、この映画のエンディング主題歌です。

11. 「 利根の船唄 」 福田蘭堂 作曲

尺八一部

山村 雅以山

中村 智山

野澤 勉

福田 瑤山

尺八二部

牧野 栞山

高橋 碩山

豊澤 栄秀

昭和2年9月の作曲。ゆったりと行き交う船の櫓の音に始まり、「おれは河原の枯れすすき……」と船頭さんの小唄が聞こえてくるのどかな利根の川面の風景を尺八二部合奏で表現している。

12. 「虹」 松本雅夫 作曲

箏(虹)

熊田 雅多盈

飯泉 歌貴純

箏(乱)

佐藤 雅千盈

村野 雅文美

平川 澄静

法隆寺西院伽藍の配置計画図の研究過程で千三百年前の歴史の「虹」が見え、なんとかふさわしい曲を書きたいと思い、並行して分析していた「乱」の圧倒されるリズムの絶妙さを基に作曲してみた（作曲者）平成六年一月作曲

13. 「松籟譜と六段調 」 中島雅楽之都と八橋検校 作曲

箏六段調

朝岡 祥敬

小野健男(小6)

岡松 美祥敬

岡松 美早紀

佐藤 三千代

加藤 知敬

折笠 治祥敬

杉田 幸敬

遠藤 裕子

箏松籟譜

国島 恭敬

尺八

牧野 栞山

松籟譜は「箏の音は松風に通う」という意味から名づけられ、六段調に合奏し得るよう作曲された手事もの。六段調は江戸時代の箏曲を代表する段物の一つ。平調子各段が52拍子（初段のみ54拍子）六つの構成からなり、唄のない純器楽曲。

14. 「 レジリエンス 」 加羅古呂庵一泉 作曲

箏 I

白川 雅楽枝

高島 敏子

海老原 久美子

加藤 泰子

箏 II

熊田 雅芳

林 雅楽優

坂本 志津慰

三 絃

須賀 雅楽薫

十七絃

長谷川 雅楽柚

尺八 I

山村 雅以山

高橋 碩山

尺八 II

豊澤 栄秀

福田 瑤山

レジリエンスとは困難な状況において、それに対応して跳ね返す底力のようなものを表す言葉です。この曲は負けない力・平安の日・勝利への進撃という三つで構成されています。数年もすれば災害や感染症は過去の記憶になるでしょう、それでも次から次へ新たな災厄は襲い掛かります。レジリエンスはそれに立ち向かうおまじないの言葉かもしれません。